

2013年10月5日

「96条改定反対」 宗教者共同声明 賛同者1万人超える



キリスト教、仏教、神道などの宗教者が宗派を超えて5月に発表した「96条改定に反対し、憲法9条を守ろう」と呼びかける宗教者共同声明（6月15日付・7月27日付既報）について、このほど賛同者が1万人を超えた。賛同者1万人を越え、80人以上が集つた。声明は、「96条を改悪し、9条改憲に道筋をつけようとする安倍首相の動きは、日本を再び『戦争する国』に仕

共同声明の呼びかけ人代表は宮城泰年（聖護院門跡門主）、谷大二（日本カトリック正義と平和協議会前会長）、小橋孝一（日本キリスト教協議会議長）の3氏。9月17日現在、呼びかけ人83人、賛同団体29団体、賛同者は計1万221人となつた。

安倍首相の改憲暴走阻止のために」と題して講演した高田健氏（許すな！憲法改悪・市民連絡会）は、安倍首相が最近では96条改定を主張しなくなったことについて、「安倍さんが96条を言いだせないような状態にしたことは確信を持つ必要がある。この第一ラウンドではわたしは勝利したと思っている」と強調。「96条をはじめとして安倍さんが自指をうして安倍さんが自指をうしていた改憲の動きには、文字通り明文改憲にはならないまでも、実質的に憲法を変えたような状態を作ろうとしている」とし、集団的自衛権の行使に反対する運動を展開することを訴えた。

呼びかけ人の一人、大倉一美氏（カトリック東京教区司祭）は、インターネットによる賛同者が1313人であることについて、「若者たちが参加していない」として、ネット利用を今後の課題として指摘した。

最後に小橋氏があいさつし、「警察予備隊、保安隊、自衛隊、防衛省は、わたしは解釈改憲だと思う。なぜ今の『軍備を持たない』という憲法の下で、あるものがあるのか納得がいかない」とし、「長い間『再軍備反対』が一つのスローガンだったが、今や時代遅れ。『再戦争反対』が現実のことになつていて」と述べた。